

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔酒類〕 （経営者）	・秋口にかけて連休もあり、行楽シーズンに高速道路料金引下げ効果を期待したい。
		百貨店（営業担当）	・生活必需品の価格が安定してきた。価格が安定すると買物の計画がしやすくなるため、やや良くなっていく。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車販売の減税の効果で販売は順調である。本当の景気回復とは思えないが、上向いているのは確かである。
		乗用車販売店（従業員）	・環境対応車への優遇税制及び新車購入補助金制度の適用期間は、新車販売市場も良くなっていく。
		乗用車販売店（営業担当）	・環境対応車への優遇税制と新車購入補助金の効果を期待する。
		一般レストラン（経営者）	・少々持ち直しつつあるが、客が以前と比べて変質している。高価な物は敬遠し、安価な物のなかからより良い物、好みに合う物を選んでいる。
		観光型旅館（経営者）	・7月の予約状況が若干良いので、これから少しずつ良くなっていく。一応、景気も底を打ったという感じがあるので、今よりは良くなっていくと期待している。
		観光名所（職員）	・業種によっては、製造を増やしたりしており、雇用も少しずつ回復してきている。
	競艇場（職員）	・当競艇場では7～8月に大きなレース開催があることに加え、夏の「ナイター営業」効果が期待できる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・定額給付金の給付、高速道路料金引下げ効果などで消費者マインドは良くなっているように思う。しかし、それがそのまま景気に結びつき、景気が良くなるとは思えない。景気の底は打ったと思う。
		商店街（代表者）	・客との話でも景気が回復している様子は全くない。
		百貨店（営業担当）	・7月のクリアランス前の商品下見の客が多く、買い控え傾向が例年になく厳しい。ファッション商品の単価低下がみられる。
		スーパー（店長）	・良い物でも値段が高くては売れないので、どんどん値下げしている。今後も単価の下落が続くそうである。夏のボーナスが減少している企業もあり、お中元商戦も厳しい。
		スーパー（店長）	・食品を中心に売上は回復傾向になっているが、価格や品質・適量等を重視した品揃えの必要性を感じている。
		スーパー（企画担当）	・景気回復の報道はあるが、生活実感として良くなっているとは思えない。いかに支出を減らすかということが、企業と同じく家庭にも大きくのしかかっている。
		衣料品専門店（経営者）	・来週からバーゲンを始めるが、現状では厳しいと予想される。
		衣料品専門店（経営者）	・仕入を抑えているが、それ以上の売上低迷で在庫が一向に減らない。そのため度々、在庫減らしの特売セールを行うことになり、悪循環が続いている。
		家電量販店（店長）	・エコポイント効果でテレビ・エアコン・冷蔵庫が好調に推移している。しかし、それ以外の商品、特にパソコンを中心に低迷しているため、全体では変わらない。
家電量販店（営業担当）		・暑くなってきたが、エアコンの売上台数が伸びない。例年並みにとどまりそうな気配である。商品1点購入の客の割合が以前よりも増している。	
乗用車販売店（従業員）	・本県の現状をみると良くなる気配はなく、底で横ばいという状況で変わらない。		
乗用車販売店（役員）	・新型ハイブリッド車の販売効果が2～3か月は続くと思う。販売量全体では横ばいと思われる。補助金の申請が終われば悪くなってくると考えている。		
都市型ホテル（経営者）	・新型インフルエンザの影響は収まってきたが、高速道路料金引下げ効果が薄れてきた感があり、全体では変わらない。		
旅行代理店（支店長）	・夏の賞与の支給水準の低下、新型インフルエンザの影響等を考えると夏の個人旅行需要は縮小傾向にある。より安・近・短の旅行形態に移行していくと思われる。		
タクシー運転手	・雇用対策に期待できないので、利用客の増加も見込めない。		
タクシー運転手	・株主総会の後、どこにも寄らずにすぐに会場から立ち去っている状況なので客が少ない。客の話の内容からも、景気が良くなるとは思えない。		

		タクシー運転手	・今の状況が変わらず、横ばいで推移する。この夏、暑ければ多少は客があると思う。しかし、夜、飲みに出る人が減っており、長距離の客が少ないため厳しいと思われる。
		通信会社（支店長）	・全般的に客の目線は冷めており、消費支出は減少傾向にある。
		通信会社（管理担当）	・新規市場の縮小化傾向及び、端末の取替えサイクルの長期化等により、売上の回復は期待できない。
		ゴルフ場（従業員）	・来場者の様子や予約状況をみていると、2～3か月後も現状とあまり変わらない。
		設計事務所（所長）	・今まで来たことのない大学から求人票が送られてくるようになった。
		設計事務所（職員）	・年度当初からの補正予算及び上半期の前倒し発注により、向こう数か月間は変わらない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・全く先の見通しが立たず、大型化した店舗ほど厳しい時代となっている。
		スーパー（財務担当）	・流通業界でデフレ傾向が先行しており、今後のスパイラル現象を懸念している。
		一般レストラン（経営者）	・競合店の出店が7月まで続くため、来客数の減少、単価の下落が発生して売上の厳しい状況が続く。
	悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・これからお中元の時期であるが、ボーナスもかなり減っていると聞いている。今年も大変苦戦しそうだ。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・景気の悪化、個人商店の激減、県都エリアや阪神方面のショッピングモールでの高額商品の購入、大都市への人口流出等、自助努力ではどうにもできない状況が続く。
		スーパー（店長）	・地方は景気悪化の影響をものを受けている。失業率の上昇、求人倍率の低下など、今後さらに悪化すると考えられる。
		衣料品専門店（経営者）	・年収が減っているため買い控えをしている。
		住関連専門店（経営者）	・個人消費が悪く、販売量がどんどん落ちている。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・景気低迷の影響で、外食に対する支出が今後も減少傾向にあると思われる。
		美容室（経営者）	・客との会話では、残業、休日出勤などの手当が抑えられ、定時に仕事を完了させるなど、忙しいのに給料には反映されていないといったことがある。このような状況では、冷え切った消費動向がすぐに回復するとは思えない。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（従業員）	・冷凍食品関連が、9月から上昇していくと思われる。
		木材木製品製造業（経営者）	・住宅着工数が90万戸とみられているので、それに対する秋の需要に伴って景気が上昇してくると思われる。
		鉄鋼業（総務・人事統括）	・自動車業界に続いて鉄鋼業界についても、持ち直し方向の報道があり受注増を期待している。
		通信業（営業担当）	・お中元、夏のレジャーシーズンを迎えることなどから、個人消費が上向くと思われる。今夏、高速道路料金が引下げられたことで家族旅行を計画している話などを耳にすることもあり、個人消費も少しは上向いて来ていると感じる。
		不動産業（経営者）	・最近、客からの問い合わせが増えてきている。
		広告代理店（経営者）	・同業者でも、機材の新規導入などの話が出ているところもある。まだ予断を許さないが、一部では受注が増えてきている。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今後、価格対応をしなければ、販売量は落ちる一方になるのではないかと心配している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・クレーン業界は今後の稼働次第だが、設備投資意欲がわいてこない状況である。ユーザーの買い控えは今後も続くものと思われる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・需要に回復がみられず、価格競争が一段と厳しくなっている。
		建設業（総務担当）	・公共工事で市町村が発注する小中学校の耐震工事がかなりの件数で出てきているが、競争が激しく、獲得は難しい状態が続く。
		輸送業（社員）	・今年上期に在庫調整も一巡し、取扱数量も以前の7割程度までは回復してきている。当面はこの状態で推移する見込みである。
		通信業（部長）	・先月末から今月にかけて新商品を発売したが、総じて購買に慎重である。この姿勢は今後も継続するものと考えられる。

		金融業（融資担当）	・客との会話で、当面は横ばい傾向が続くという内容が多い。
		広告代理店（経営者）	・消費低迷で幅広い得意先の広告費が削減され、「広告しても物が売れない」という意識が広がっている。補正予算による新車の売れ筋も車種が限定されており、地方広告で比較的多かった車関係の得意先の広告費も削減が続いており、今後とも厳しい状況が見込まれる。
		公認会計士	・関与先の社長との話では、資金繰りに慎重で積極的に設備投資をしようという企業は非常に少ない状況である。しかし、売上が今後落ちていくという不安も持っていないようである。現状が続くものと思われる。
	やや悪くなる	輸送業（支店長）	・燃料がじわじわ値上がりしている。特に7月は値上がり幅が大きく、一方、運賃収入が落ちる現況では経営が苦しくなってくる。
	悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・機械、プラントの動きが完全に止まった。受注残がなくなったこともあるが、期待している環境、電池の原料等の動きも悪くなっている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人数は低調であるが、社員教育や研修に力を入れ、業績回復の基礎作りに取り組む企業は増えてきそうである。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・夏の賞与の減少で消費は停滞する。全国的に景気が下げ止まっても、本県は製造業が少ないので資金が流入することも少ない。観光面でも好材料がない。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・新規求人数が前年の3分の2という低水準であり、求人倍率も低下している。また、雇用調整助成金の休業を実施している事業所も多い状況が続いている。
		職業安定所（職員）	・家電や自動車以外の中心的な企業で生産調整がさらに拡大する見込みがあり、傘下企業への影響によって景気悪化が予想される。
		民間職業紹介機関（所長）	・風評により、自分の勤務している会社が不安だという登録者が増えている。日常の求人活動でも、あの会社が危ない、大丈夫かという声を聞く場面に出会う。そのような風評後に倒産した会社の実例もある。
悪くなる	求人情報誌製作会社（従業員）	・年内に採用予定のない企業が多く、求人数が見込めない。	